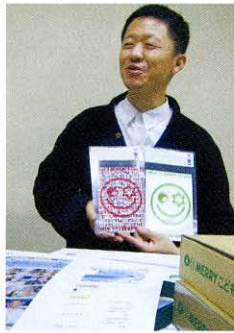


People **さまざまな分野で活躍する人々をシブテレ編集部がインタビュー!**

水谷 孝次 [MERRY PROJECT]



アートディレクター水谷孝次氏が1999年から続けているアートプロジェクト[MERRY]。「笑顔は世界共通のコミュニケーション」をテーマに、日本はもちろん、世界23カ国2万人以上の笑顔を撮影。その一人ひとりに「あなたにとってMERRY(楽しいこと、幸せなとき、将来の夢など)とは何ですか?」

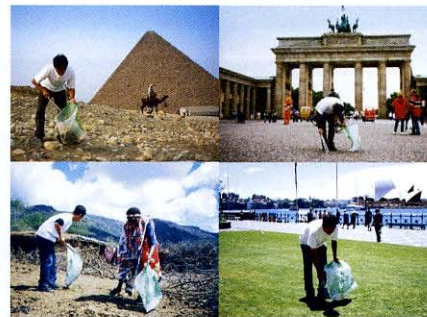
という質問を投げかけ、集めた人々の笑顔とメッセージを巨大ポスターに出力して様々な場所にて展示。[MERRY PROJECT]は、「笑顔で世界を元気にする。」というコンセプトから、「その街の人々を元気にし、その街を元気にする!」、「街全体が美術館!」という誰もが参加・体験できるポジティブなコミュニケーション・アートです。2005年には、愛知にて開催された国際博覧会「愛・地球博」に参加。愛・地球広場のシンボルコンテンツとして巨大ビジョンにて世界中の笑顔を発信しました。この笑顔のポスター展示を始め、映像のインスタレーション、ビジュアルブックの



出版、フリーペーパーの配布などの活動も展開し、世界にMERRYの輪を広げてきました。2000年のラフォーレ原宿での初展示では、ファッションというテーマでスタートした「MERRY」でしたが、9/11の起きた1年後のN.Y.で撮影をおこなったり、神戸の人々の笑顔を震災後の街中に展示するなど、徐々に「環境」がテーマになり、「負の遺産のある街をMERRYにしたい」という思いから「人を元気にし、街を元気にし、世界を元気にする!」というメッセージ性が深まってきたそうです。また、撮影(取材)後には、必ずMERRYオリジナルのゴミ袋を使って、その土地のゴミ拾いを行うそうです。それによってMERRYの参加者や地元の方が率先して手伝ってくれたり、キューバでは周りで見っていた子ども達が「一緒にゴミ拾いさせて〜」と集まってくるなど、そこからまた新たなコミュニケーションが生まれるとの事でした。

渋谷について

「2003年に、地球環境を足元から見直し、自分たちが出来ることから世界を変えていくためにスタートした「MERRY CLEAN UP PROJECT」には、1000人以上の人々が参加して、渋谷の街中からゴミを拾い集めました。」街にいる人達に、ゴミを捨てている姿をアピールして見てもらうことで、みんながゴミを捨てないMERRYな街づくりを目指して、今後もクリーンアップを行なっていきたいそうです。



今後の展開

「今年は、今まで活動してきたMERRY PROJECTのひとつひとつの点が線となったので、それを大きな面にしていきたいです。」「今までの七年間、ずっとMERRYの活動を日本から世界各地にて2万人以上の取材(撮影)を行なって来ました。最終的には、世界中の人々65億人のMERRYを取材し地球をMERRYにしたいと思っています。」との事でした。

MERRY PROJECT公式サイト
<http://www.merryproject.com>

MERRYのサイトがリニューアルしました!
新コンテンツの「MERRY ARCHIVES」では、今までに世界中で撮影された2万人以上の笑顔を検索して見ることが出来ます。



そして、もう一つ「YOUR MERRY MESSAGE」では、世界地図の上にMERRYなメッセージや写真を投稿していく、世界にMERRYの輪を広げていく新しいコミュニケーションツールが誕生しました。